
平成19年3月期
中間決算説明資料

平成18年12月8日

 静甲株式会社


Listed Company 6286

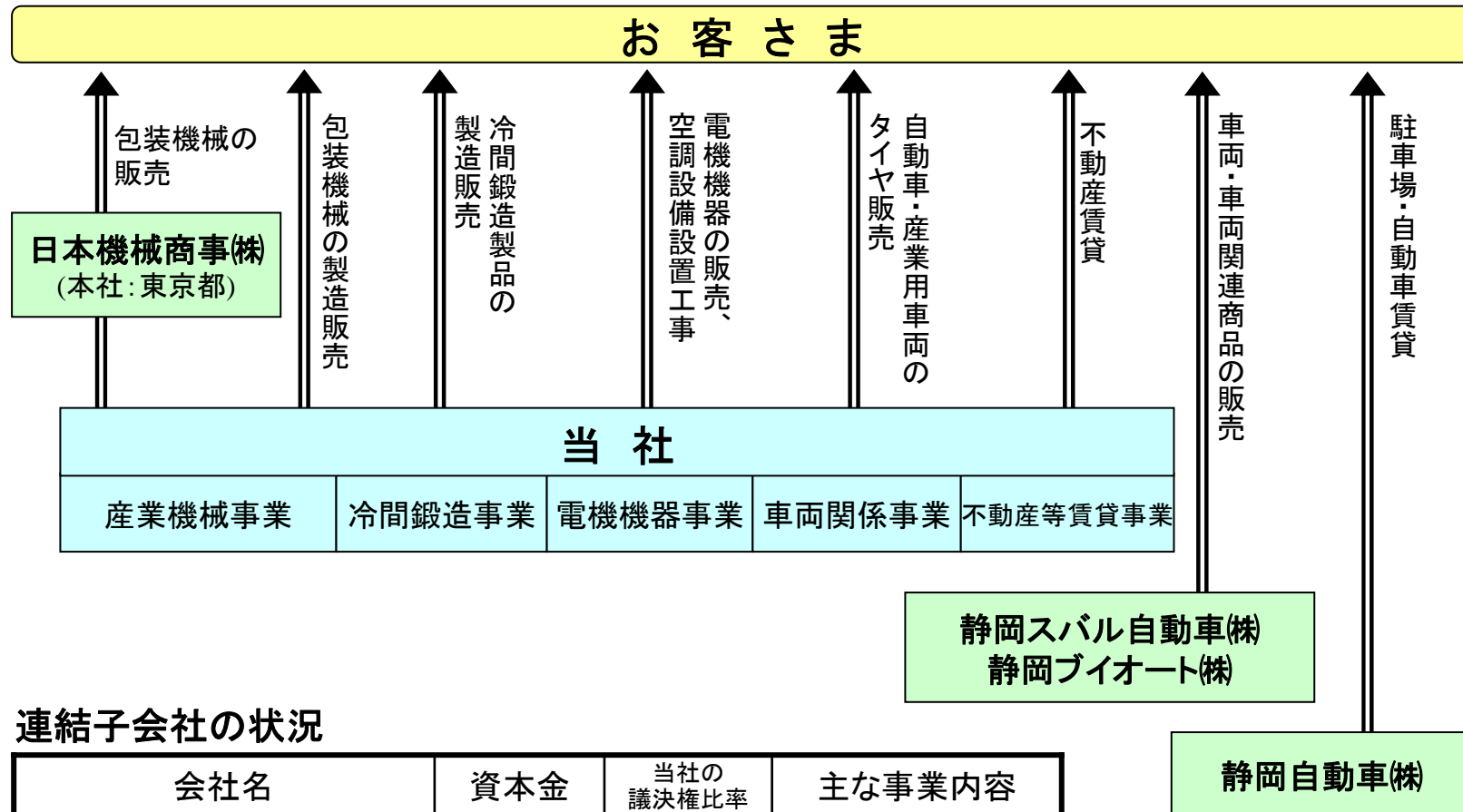
目 次

会社概要	----- P 1
グループ概要(連結子会社)	----- 2
平成19年3月期 中間業績の概要(連結)	----- 3~8
業績の推移(連結)	----- 9
連結財務諸表(要旨)	-----10~13
個別財務諸表(要旨)	-----14~16
業績の推移(個別)	-----17
平成19年3月期 通期業績予想(連結・個別)	-----18

会社概要

会社名	静甲株式会社
設立	昭和14年5月18日
上場市場	JASDAQ（平成2年10月上場）
発行済株式総数	5,250,000株（単元株式数1,000株）
代表者	取締役社長 鈴木恵子
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
資本金	13億3千7百万円
従業員数	個別 285名 連結 622名（平成18年9月30日現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■液体自動充填機などの自動包装プラントの製造販売■冷間鍛造製品の製造販売■FA機器、空調設備、モーター、非常用電源設備、エレベーターなどの総合電機設備機器の販売及び電機・空調設備工事■スーパードライヤー、ホイールローダー、クレーンなどの省力機械の販売■自動車・産業用車両のタイヤ販売
連結子会社	日本機械商事(株)（本社：東京都）、静岡自動車(株)、静岡スバル自動車(株)、静岡バイオ(株)

グループ概要 (連結子会社)



連結子会社の状況

会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
日本機械商事株式会社(本社:東京都)	150,000千円	100.00 %	包装機械の販売
静岡自動車株式会社	16,000	100.00	駐車場業・レンタカー業
静岡スバル自動車株式会社	961,000	50.35	自動車の販売修理
静岡ブイオート株式会社	80,000	50.35	輸入自動車の販売修理

(注) 静岡ブイオート株式会社は、静岡スバル自動車株式会社の100%子会社であります。

平成19年3月期 中間業績の概要（連結）

概要

当中間期におけるわが国の経済は、好調な企業収益を背景に設備投資が増加するとともに、所得環境及び雇用環境の改善から個人消費も緩やかながら改善傾向を示すなど、景気は全体として着実な回復基調にありました。

しかしながら、当社グループの連結売上高の多くを占める車両関係事業が属する自動車業界においては、輸出は好調なもの、国内販売では軽自動車を除き新車販売台数が前年割れを続けるという厳しい販売環境にありました。市況は静岡県内においても同様で、車両関係事業以外の各事業では前年同期の実績を上回る売上高をあげることができましたが、スバル新車販売部門の販売台数が計画を大きく下回り、売上高は118億9千8百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

利益面では、産業機械事業で前年同期に比べ工場の生産高が増加して利益率が改善されたため、経常利益は2億7千万円（前年同期比40.7%増）、中間純利益は1億1千5百万円（前中間期は減損会計の適用に伴う減損損失1億6千6百万円を特別損失に計上したため1億2千4百万円の中間純損失）となり、減収増益となりました。

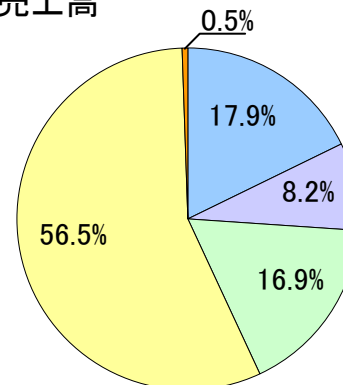
セグメント別売上高・営業利益

（単位：百万円）

	売上高	営業利益
産業機械事業	2,127	190
冷間鍛造事業	976	154
電機機器事業	2,007	127
車両関係事業	6,723	19
不動産等賃貸事業	64	19
計	11,898	511
消去又は全社	-	△274
連結合計	11,898	237

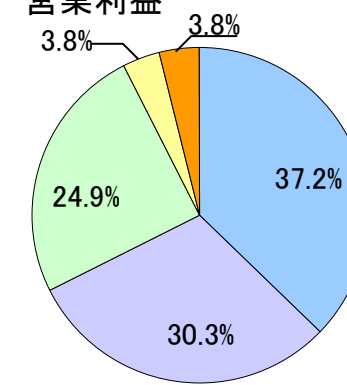
<構成比>

売上高



■ 産業機械事業
■ 冷間鍛造事業
■ 電機機器事業

営業利益



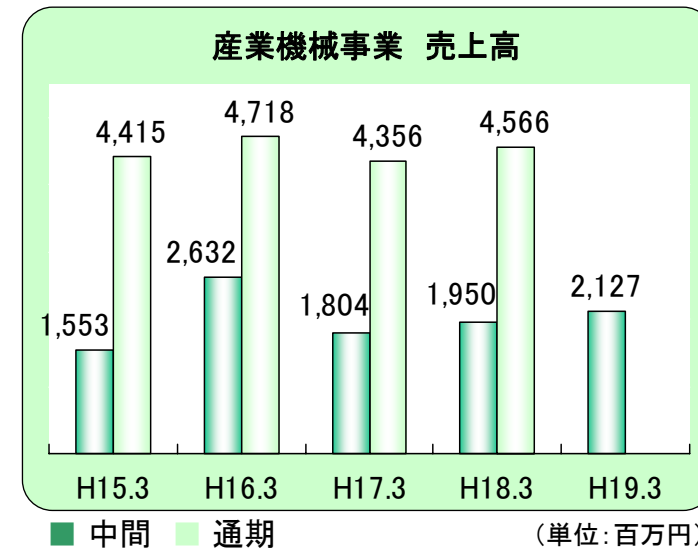
■ 車両関係事業
■ 不動産等賃貸事業

各事業セグメントの業績

— 産業機械事業 —

業績

包装機械の大型充填ライン設備で受注延期になった物件がありましたが、液晶関連の製造設備など包装機械以外の産業機械分野や包装機械の改造工事の受注に積極的に努めた結果、売上高は前中間期を上回る21億2千7百万円（前年同期比9.1%増）となりました。前中間期に比べ工場の操業が安定したことと、利益率の良い改造工事案件が増加したことで営業利益は1億9千万円（前年同期比56.0%増）となりました。



対処すべき課題

産業機械事業では、多様化するお客さまのニーズに対応する新製品の開発と事業分野の拡大をめざします。多品種生産向けパウチ充填シール機については、販売キャンペーンを継続して拡販に努めるとともに、新たに開発したボトルハンドリング技術を利用した充填機の商品化に取り組みます。事業分野の拡大では、これまでカートナーの販売強化などを通して医薬品業界において実績を積み重ねてきましたが、これからは業界におけるポジションの確立に取り組むため、来年6月に開催される医薬関連の展示会であるインターフェックス ジャパンへの出展を計画し、現在その準備を進めております。

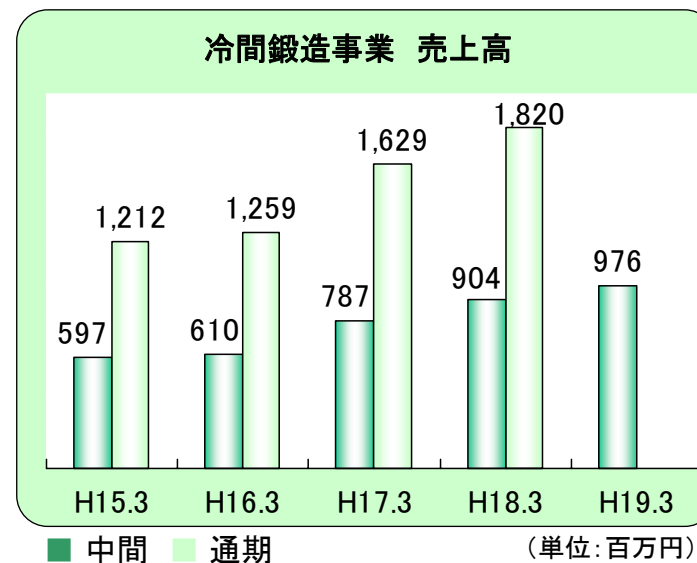
— 冷間鍛造事業 —

業績

主力である電動工具部品と自動車部品が順調に推移して受注が増加するなか、見積もり提出期間を短縮して迅速な対応に努めました。加えて、お客さまの希望納期に応えられるよう生産工程の改善や設備の計画的な保全を実施し、生産効率の向上に取り組んだ結果、売上高は9億7千6百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は1億5千4百万円（前年同期比16.1%増）となりました。



新規受注の減速機用駆動部品 等



対処すべき課題

冷間鍛造事業では、高い水準で推移している生産高に対応するため、潤滑処理装置の改造を中心とした設備投資を行って処理能力を増強し、増加する外注費の削減と製造リードタイムの短縮を図ります。さらに今後は老朽化した設備の更新も行い、品質の向上と作業の安全性確保に努めてまいります。

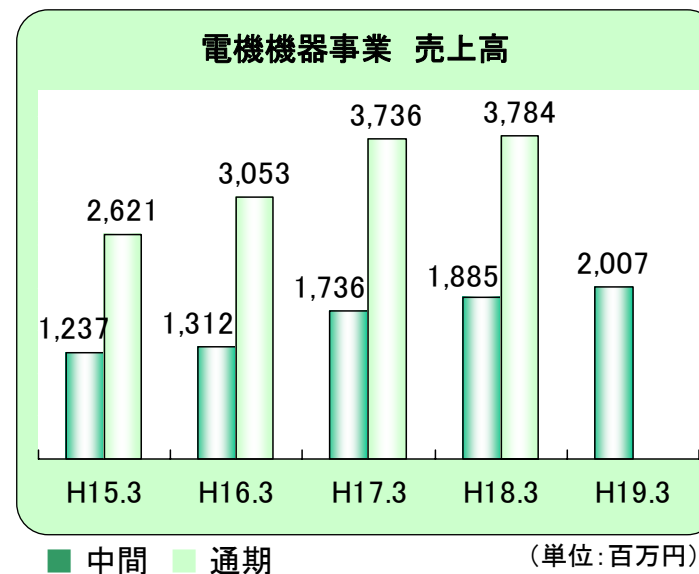
— 電機機器事業 —

業績

電機機器事業では、半導体関連の製造装置メーカーを中心として、県内製造業向けにF A 関連機器の需要が好調に推移しました。その結果、ガスタービン発電機などの大型電機設備機器で受注延期になった物件があったものの、電機機器事業全体で売上高は20億7百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1億2千7百万円（前年同期比15.2%増）となりました。



三菱電機(株)製 マイクロシーケンサ FX 3U



対処すべき課題

電機機器事業では、F A 関連機器を中心とした電機機器の売上拡大のため、県内西部地区での販売強化に継続的に取り組むとともに、東部地区における営業拠点の再構築を検討してまいります。また、新たに導入した販売店とのE D I 取引（電子商取引）システムを活用して事務コストの削減とスピードアップを図ってまいります。

— 車両関係事業 —

業績

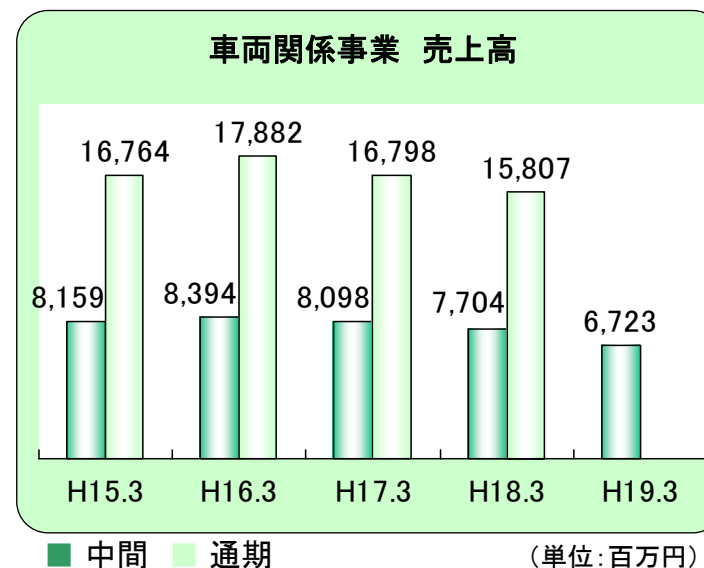
車両関係事業では、連結子会社の静岡スバル自動車株において、小型・普通乗用車の需要減少に加え、6月に発売した新型軽自動車「ステラ」の売れ行きが期待したほどには伸びず、売上高は67億2千3百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は1千9百万円（前年同期比72.2%減）となりました。



SUBARU LEGACY



SUBARU STELLA



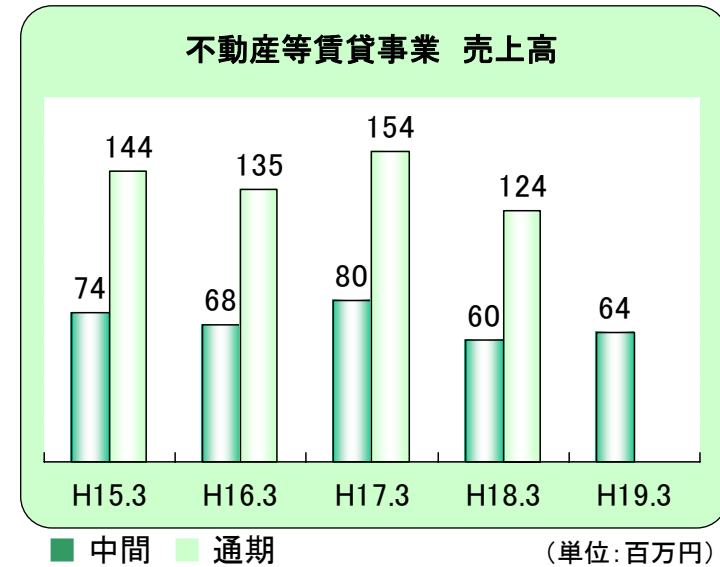
対処すべき課題

車両関係事業では、新車販売の業績回復を図るため、昨年導入いたしました新情報システム「パートナー21」を活用して既存顧客への買替販売に注力します。また、販売担当者研修により一人ひとりの提案力などのレベルアップを推進するほか、ロールプレイングを中心とした職種別研修や、店舗ごとに行われる勉強会を通じて接客対応力の向上を図ってまいります。また、来店されたお客さまへの声かけや日常的な店舗美化といった基本的な心配りの醸成にも注力してまいります。

— 不動産等賃貸事業 —

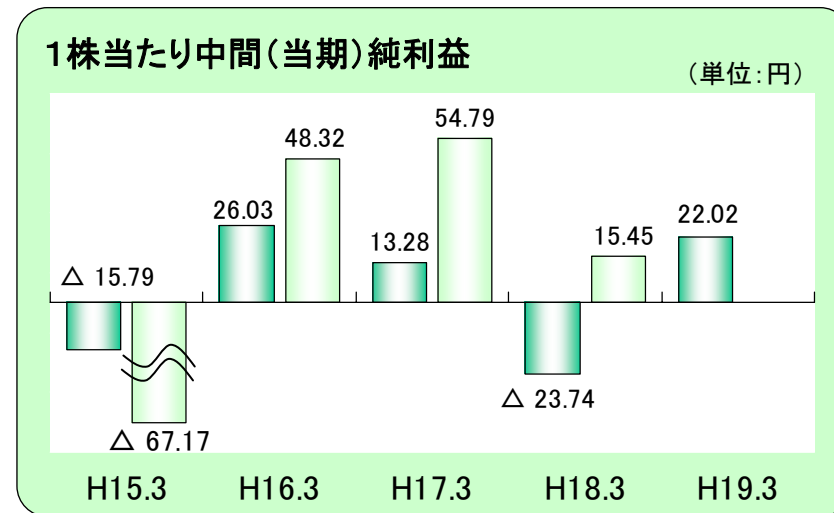
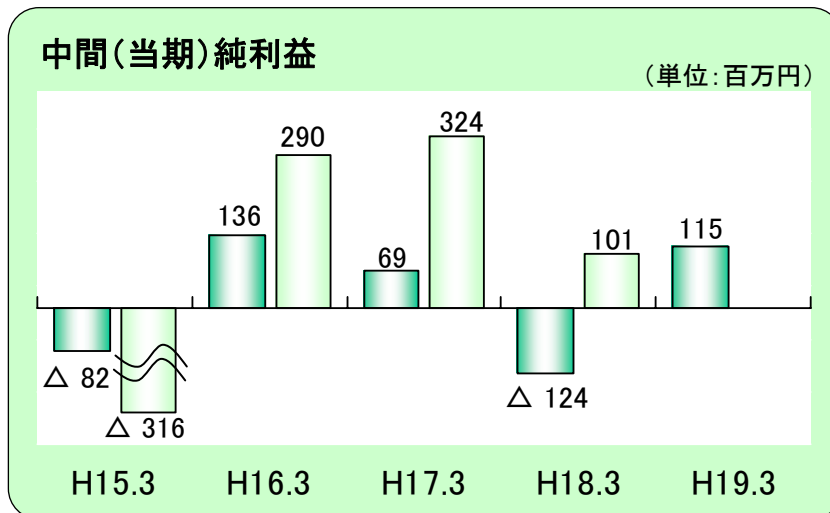
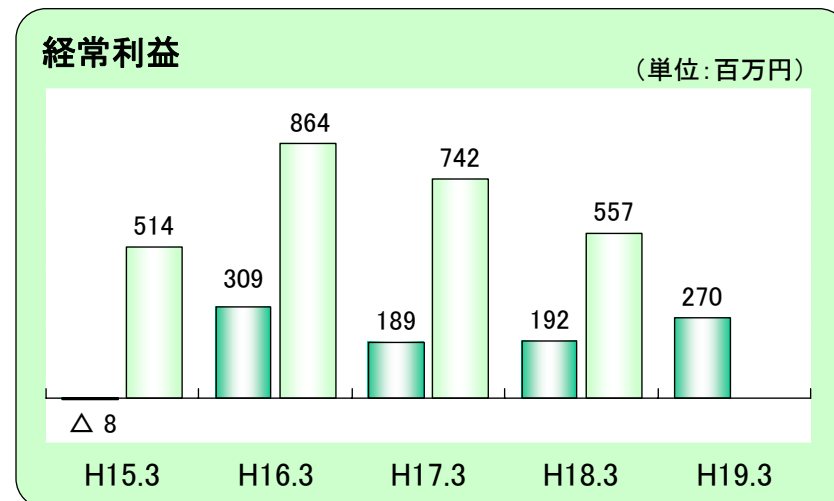
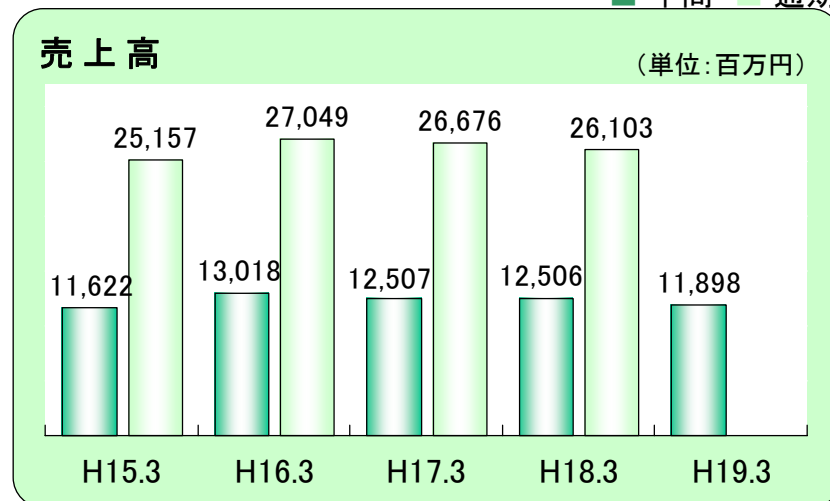
業績

不動産等賃貸事業では、所有不動産の賃貸契約に変更がありましたので売上高は6千4百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は1千9百万円（前年同期比28.3%増）となりました。



業績の推移 (連結)

■ 中間 ■ 通期



- ・平成15年3月期につきましては、鈴木厚生年金基金脱退に伴う一括拠出金(通期で9億3千9百万円)を特別損失に計上しております。
- ・平成18年3月期につきましては、固定資産の減損に係る会計基準及び同適用指針の適用により、減損損失(通期で1億6千6百万円)を特別損失に計上しております。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：千円）

	平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在		平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	8,095,730	8,029,661	流動負債	3,451,271	3,009,548
現金及び預金	2,239,878	2,431,287	支払手形及び買掛金	2,040,019	1,676,031
受取手形及び売掛金	3,453,284	3,531,668	その他	1,411,252	1,333,516
たな卸資産	1,988,950	1,653,336	固定負債	1,758,917	1,710,199
その他	419,259	418,244	〈負債合計〉	〈 5,210,189 〉	〈 4,719,747 〉
貸倒引当金	△ 5,641	△ 4,875	少数株主持分		
固定資産	10,088,920	9,925,569	〈少数株主持分〉	〈 2,228,587 〉	
（有形固定資産）	（ 7,549,163 ）	（ 7,379,506 ）	資本の部		
建物及び構築物	2,616,561	2,650,918	資本金	1,337,000	
土地	3,924,686	3,924,686	資本剰余金	1,242,814	
その他	1,007,914	803,900	利益剰余金	7,482,566	
（無形固定資産）	（ 104,629 ）	（ 89,752 ）	株式等評価差額金	683,492	
（投資その他の資産）	（ 2,435,127 ）	（ 2,456,310 ）	〈資本合計〉	〈 10,745,874 〉	
投資有価証券	1,930,857	1,967,949	負債、少数株主持分及び資本合計	18,184,651	
その他	519,464	496,214	純資産の部		
貸倒引当金	△ 15,193	△ 7,854	株主資本		10,299,808
			資本金		1,337,000
			資本剰余金		1,242,814
			利益剰余金		7,719,993
			評価・換算差額等		700,418
			その他有価証券評価差額金		700,418
			少数株主持分		2,235,256
			〈純資産合計〉		〈 13,235,482 〉
資産合計	18,184,651	17,955,230	負債及び純資産合計		17,955,230

連結損益計算書

(単位:千円)

(単位:千円)

	平成18年3月期 中間期	平成19年3月期 中間期	平成18年3月期 通期
売上高	12,506,633	11,898,486	26,103,516
売上原価	10,110,414	9,532,559	21,177,793
販売費及び一般管理費	2,243,187	2,128,865	4,427,961
営業利益	153,031	237,062	497,761
営業外収益	54,998	51,096	93,790
営業外費用	15,914	17,874	34,325
経常利益	192,116	270,283	557,227
特別利益	17,749	1,580	133,712
特別損失	255,734	17,929	285,784
税金等調整前中間純利益	△ 45,868	253,934	405,154 ← 税金等調整前当期純利益
法人税、住民税及び事業税	26,667	133,487	128,000
法人税等調整額	28,238	△ 1,772	105,898
少数株主利益	23,874	6,581	69,441
中間純利益	△ 124,650	115,637	101,814 ← 当期純利益

連結株主資本等変動計算書 (平成18年3月期 中間期)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
平成18年3月31日 残高	1,337,000	1,242,814	7,667,031	10,246,846
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当			△ 42,000	△ 42,000
利益処分による役員賞与			△ 20,675	△ 20,675
中間純利益			115,637	115,637
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額)				
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	52,961	52,961
平成18年9月30日 残高	1,337,000	1,242,814	7,719,993	10,299,808

	評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
平成18年3月31日 残高	724,890	2,261,287	13,233,024
中間連結会計期間中の変動額			
剰余金の配当			△ 42,000
利益処分による役員賞与			△ 20,675
中間純利益			115,637
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額 (純額)	△ 24,472	△ 26,030	△ 50,503
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 24,472	△ 26,030	2,458
平成18年9月30日 残高	700,418	2,235,256	13,235,482

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	平成18年3月期 中間期	平成19年3月期 中間期	平成18年3月期 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,939	250,547	1,003,994
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 513,765	△ 225,765	△ 759,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,978	△ 25,800	△ 266,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	-	△ 592
現金及び現金同等物の減少額	△ 214,847	△ 1,018	△ 22,419
現金及び現金同等物の期首残高	2,449,725	2,427,305	2,449,725
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,234,878	2,426,287	2,427,305

当中間期における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、24億2千6百万円であり、前期末から1百万円資金が減少(前中間期は2億1千4百万円の資金が減少)いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前中間純利益が2億5千3百万円でありましたが、売上債権の減少による資金の増加及び仕入債務の減少による資金の減少等により、2億5千万円の資金が増加(前中間期は2億3千2百万円の資金が増加)いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による資金の減少等により、2億2千5百万円の資金が減少(前中間期は5億1千3百万円の資金が減少)いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払等により、2千5百万円の資金が減少(前中間期は6千5百万円の資金が増加)いたしました。

個別財務諸表（要旨）

貸借対照表

（単位：千円）

	平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在		平成17年9月30日現在	平成18年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	5,446,291	5,774,214	流動負債	1,203,919	1,225,878
現金及び預金	1,706,512	1,949,114	支払手形及び買掛金	684,181	584,717
受取手形及び売掛金	2,254,948	2,570,125	その他	519,738	641,160
たな卸資産	1,061,292	821,207			
その他	427,393	438,099	固定負債	1,045,205	1,126,773
貸倒引当金	△ 3,855	△ 4,332	〈負債合計〉	〈 2,249,124 〉	〈 2,352,652 〉
			資本の部		
固定資産	6,112,537	6,095,299	資本金	1,337,000	
（有形固定資産）	（ 3,104,028 ）	（ 3,072,841 ）	資本剰余金	1,242,814	
建物及び構築物	1,043,915	1,178,566	利益剰余金	6,074,105	
土地	1,491,516	1,491,516	株式等評価差額金	655,783	
その他	568,596	402,758	〈資本合計〉	〈 9,309,704 〉	
（無形固定資産）	（ 29,268 ）	（ 27,558 ）	負債及び資本合計	11,558,828	
（投資その他の資産）	（ 2,979,239 ）	（ 2,994,899 ）	純資産の部		
投資有価証券	1,680,836	1,623,790	株主資本		8,854,517
その他	1,313,597	1,378,963	資本金		1,337,000
貸倒引当金	△ 15,193	△ 7,854	資本剰余金		1,242,814
			利益剰余金		6,274,702
			評価・換算差額等		662,344
			その他有価証券評価差額金		662,344
			〈純資産合計〉		〈 9,516,862 〉
資産合計	11,558,828	11,869,514	負債及び純資産合計		11,869,514

損益計算書

(単位:千円)

(単位:千円)

	平成18年3月期 中間期	平成19年3月期 中間期	平成18年3月期 通期	
売上高	4,498,544	4,871,439	9,560,799	
売上原価	3,748,493	4,051,610	8,045,661	
販売費及び一般管理費	686,968	668,130	1,323,200	
営業利益	63,082	151,697	191,936	
営業外収益	83,402	84,135	138,778	
営業外費用	7,479	11,812	17,726	
経常利益	139,005	224,020	312,989	
特別利益	16,107	493	131,914	
特別損失	250,516	15,872	279,478	
税引前中間純利益	△ 95,403	208,641	165,424	← 税引前当期純利益
法人税、住民税及び事業税	2,635	107,188	12,474	
法人税等調整額	11,188	△ 19,396	89,980	
中間純利益	△ 109,227	120,850	62,969	← 当期純利益
前期繰越利益	322,587	-	322,587	
	-	-	42,000	← 中間配当額
中間未処分利益	213,360	-	343,557	← 当期未処分利益

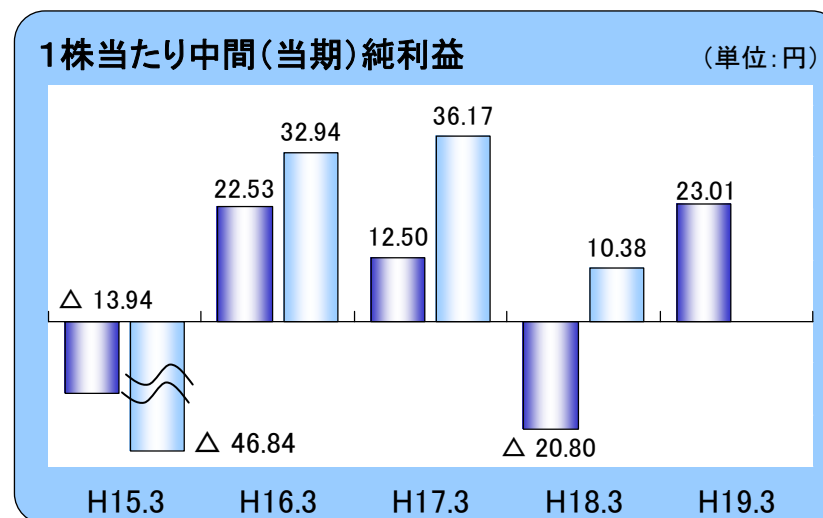
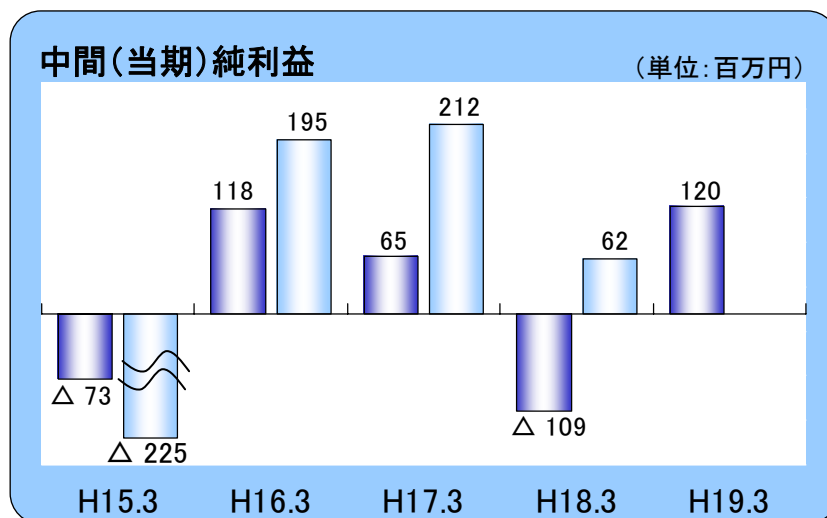
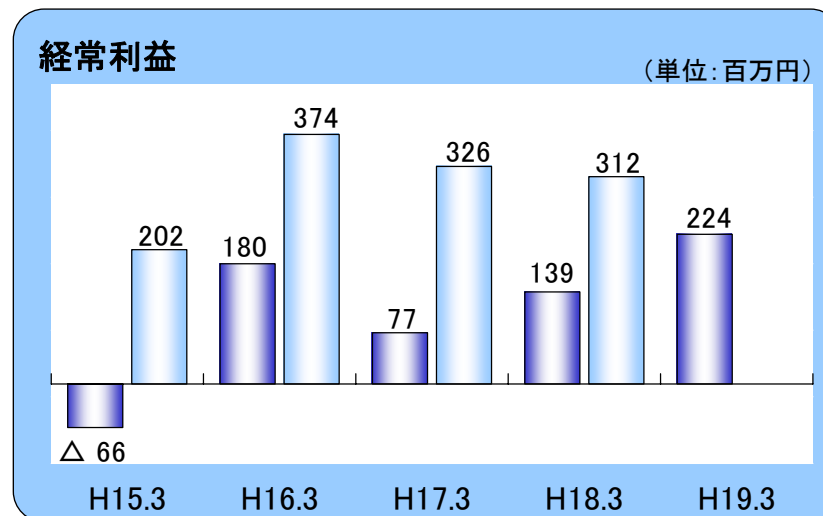
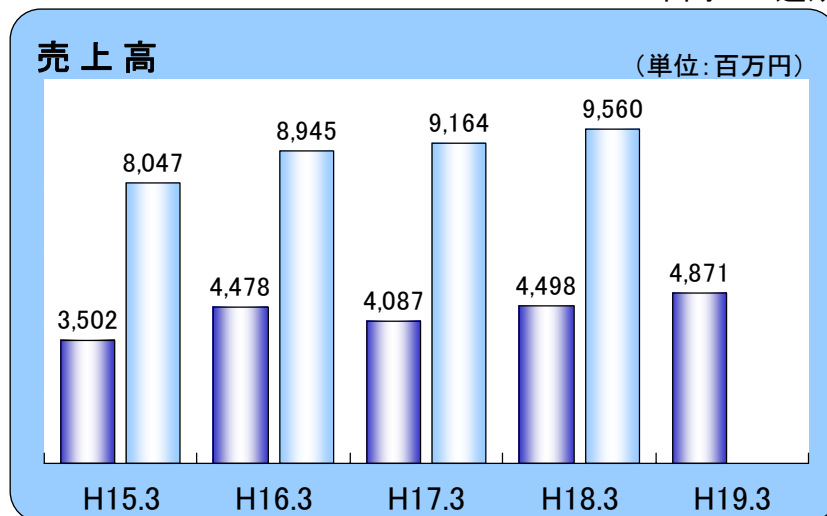
株主資本等変動計算書 (平成18年3月期 中間期)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
平成18年3月31日 残高	1,337,000	1,242,814	6,204,302	8,784,117	683,292	9,467,409
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当			△ 42,000	△ 42,000		△ 42,000
利益処分による役員賞与			△ 8,450	△ 8,450		△ 8,450
中間純利益			120,850	120,850		120,850
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額 (純額)					△ 20,947	△ 20,947
中間会計期間中の変動額合計	-	-	70,400	70,400	△ 20,947	49,452
平成18年9月30日 残高	1,337,000	1,242,814	6,274,702	8,854,517	662,344	9,516,862

業績の推移（個別）

■ 中間 ■ 通期



- ・平成15年3月期につきましては、鈴与厚生年金基金脱退に伴う一括拠出金(通期で4億8千万円)を特別損失に計上しております。
- ・平成18年3月期につきましては、固定資産の減損に係る会計基準及び同適用指針の適用により、減損損失(通期で1億6千6百万円)を特別損失に計上しております。

平成19年3月期 通期業績予想（連結・個別）

連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

売上高	経常利益	当期純利益
百万円 26,500	百万円 620	百万円 240

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 45円71銭

個別業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
			期末	
百万円 9,800	百万円 340	百万円 200	円 銭 8 00	円 銭 16 00

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 38円09銭

（注）上記の業績予想は、本資料発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、実際の業績は様々な要素により異なる結果となる可能性があります。